

平成29年(2017年)11月の結果 (二人以上の世帯)

消費支出

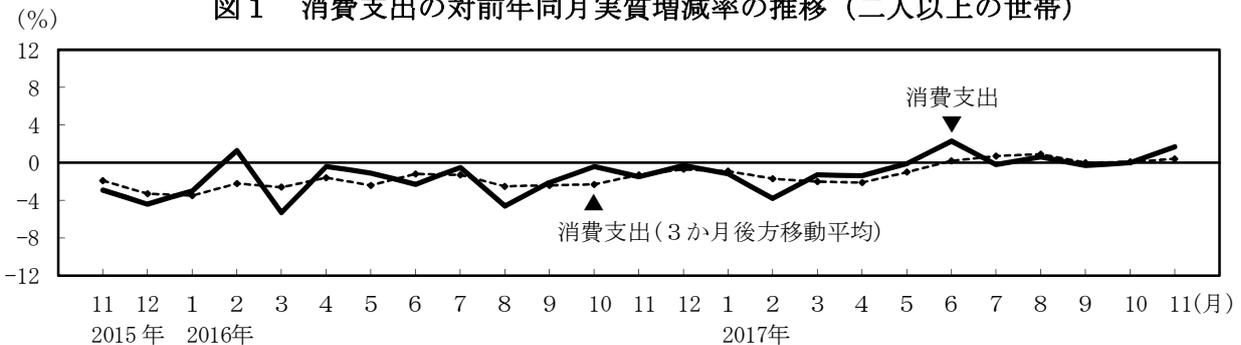
・消費支出は、1世帯当たり 277,361 円
 前年同月比 実質 1.7%の増加 名目 2.4%の増加
 前月比(季節調整値) 実質 2.1%の増加

・消費支出(除く住居等)は、1世帯当たり 241,783 円
 前年同月比 実質 2.7%の増加 名目 3.4%の増加
 前月比(季節調整値) 実質 2.7%の増加

「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2016年		2017年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費支出	-1.5	-0.3	-1.2	-3.8	-1.3	-1.4	-0.1	2.3	-0.2	0.6	-0.3	0.0	1.7
消費支出(除く住居等)	-1.9	-1.5	0.3	-3.7	-1.9	-1.3	-0.8	0.1	0.5	0.2	-0.7	-0.3	2.7

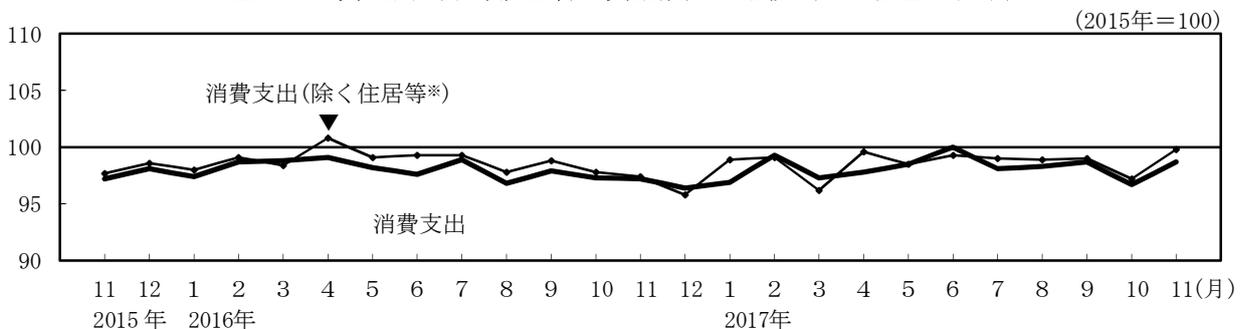
(参考)3か月後方移動平均

消費支出	-1.3	-0.7	-0.9	-1.7	-2.0	-2.1	-1.0	0.2	0.7	0.9	0.0	0.1	0.4
消費支出(除く住居等)	-0.9	-1.2	-1.0	-1.7	-1.7	-2.2	-1.4	-0.7	-0.1	0.3	-0.1	-0.3	0.5

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2016年		2017年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費支出	97.2	96.4	96.9	99.3	97.3	97.8	98.5	100.0	98.1	98.3	98.7	96.7	98.7
対前月変化率(%)	-0.1	-0.8	0.5	2.5	-2.0	0.5	0.7	1.5	-1.9	0.2	0.4	-2.0	2.1
消費支出(除く住居等)	97.4	95.8	98.9	99.1	96.2	99.6	98.5	99.3	99.0	98.9	99.0	97.2	99.8
対前月変化率(%)	-0.4	-1.6	3.2	0.2	-2.9	3.5	-1.1	0.8	-0.3	-0.1	0.1	-1.8	2.7

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2017年11月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	277,361	2.4	1.7	-		3か月ぶりの実質増加
食 料	71,680	2.1	2.2	0.57	<増 加> 外食,野菜・海藻など	2か月ぶりの実質増加
住 居	16,018	-7.7	-7.9	-0.50	<減 少> 家賃地代,設備修繕・維持	4か月ぶりの実質減少
光熱・水道	19,724	8.5	2.5	0.17	<増 加> 電気代,ガス代など	7か月ぶりの実質増加
家具・家事用品	11,813	19.5	20.1	0.73	<増 加> 家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	3か月ぶりの実質増加
被服及び履物	12,263	3.4	3.7	0.16	<増 加> 洋服,シャツ・セーター類など	2か月ぶりの実質増加
保健医療	14,149	7.5	5.8	0.28	<増 加> 保健医療用品・器具,医薬品など	3か月連続の実質増加
交通・通信	41,496	1.5	0.7	0.11	<増 加> 交通,通信	2か月連続の実質増加
教 育	8,757	7.1	6.7	0.20	<増 加> 補習教育,授業料など	2か月連続の実質増加
教 養 娯 楽	27,187	1.8	1.5	0.15	<増 加> 教養娯楽用品,教養娯楽サービス	3か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	54,274	-0.3	(-1.0)	(-0.21)	<減 少> 諸雑費	5か月連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	241,783	3.4	2.7	-		3か月ぶりの実質増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類 品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

家庭用耐久財	[0.33]	電気冷蔵庫,電気洗濯機
外食	[0.23]	すし(外食),焼肉
教養娯楽用品	[0.20]	テレビゲーム機,スポーツ用品
保健医療用品・器具	[0.18]	眼鏡,保健用消耗品
交通	[0.16]	航空運賃,鉄道通勤定期代
通信	[0.15]	携帯電話通信料,携帯電話
野菜・海藻	[0.12]	トマト,キャベツ

< 減少項目 >

設備修繕・維持	[-0.18]	外壁・塀等工事費,設備器具
自動車等関係費	[-0.16]	自動車購入
教養娯楽用耐久財	[-0.16]	パーソナルコンピュータ
諸雑費	[-0.15]	婚礼関係費,寄付金

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

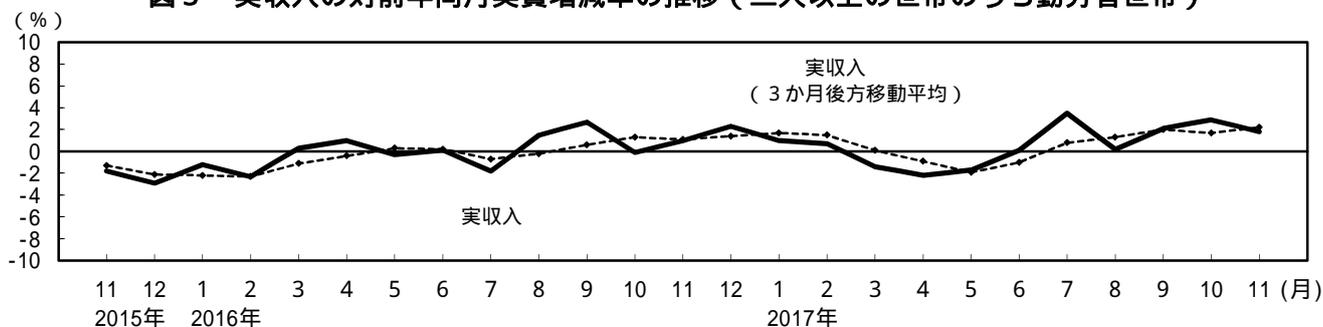
実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 443,186 円
 前年同月比 実質 1.8%の増加 名目 2.5%の増加

3 勤労者世帯の収支

(1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2016年		2017年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
実 収 入	1.0	2.3	1.0	0.7	-1.4	-2.2	-1.7	0.1	3.5	0.2	2.1	2.9	1.8	
(参考)3か月 後方移動平均	名 目	1.2	1.8	2.2	2.0	0.5	-0.5	-1.4	-0.5	1.3	1.9	2.8	2.4	2.9
	実 質	1.1	1.4	1.7	1.5	0.1	-0.9	-1.9	-1.0	0.8	1.3	2.0	1.7	2.2

(2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2017年11月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	443,186	2.5	1.8	-	6か月連続の実質増加
世帯主収入	359,714	2.0	1.3	1.07	3か月連続の実質増加
定期収入	352,096	1.7	1.0	0.79	3か月連続の実質増加
配偶者の収入	62,369	6.3	5.6	0.75	2か月連続の実質増加
他の世帯員収入	8,568	1.6	0.9	0.02	5か月連続の実質増加
非消費支出	81,893	1.7	-	-	3か月連続の増加
可処分所得	361,293	2.7	2.0	-	6か月連続の実質増加
消費支出	301,164	2.4	1.7	-	2か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	83.4	(前年同月)(ポイント差) 83.6 -0.2			季節調整値で見ると72.0%で、前月に比べ1.0ポイントの上昇となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。